

再意見書

平成 22 年 11 月 12 日

総務省総合通信基盤局
電気通信事業部料金サービス課殿

「競争セーフガード制度の運用に関する再意見の募集(2010 年度)」
に関し、別紙のとおり意見を提出します。

本文

1. 政府が旧電電公社へ出資する必要性を考え直すべき時が来た！

現在、
政府が出資する NTT 持ち株会社の傘下には、
加入者電話・固定電話事業を行なう NTT 東西社、
長距離電話事業、ISP 事業(OCN ブランド)を行なう NTT コミュニケーションズ社、
携帯電話事業を行なう NTT ドコモ社、
情報処理システム事業を行なう NTT データ社、
ポータルサイト事業(goo ブランド)を行なう NTT レゾナント社、
通信回線工事事業を行う NTT ファシリティー社等、
多種多数が存在する。

1-1. 納税者向けユニバーサルサービス以外の事業のために
政府出資が必要なのか？

NTT 持ち株会社の傘下には、
電話・電報事業の他に、インターネット関連事業、通信工事事業等を含め、
多種多数の子会社が存在する。

だが、そもそも、
交換機技術時代の旧電電公社が民営化された際に、
政府が大株主になってまで、
納税者に対するサービス実施を確保しなければならないと考えられた事業の種類は、
加入者電話・固定電話(ユニバーサルサービス)だけに
限定されていたのではないのか？

ISP 事業やポータルサイト事業のようなインターネット関連ビジネスの世界には、
完全民間資本の優れた競合他社が存在している。

(ただし、
光ファイバー設備の保有問題が関連するので、
優れた競合ではあるが、不利不公正を強いられる立場である。)

従って、
NTT コミュニケーションズ社(の ISP 事業)や NTT レゾナント社までもを、
政府が大株主である持ち株会社の傘下に配置する必要性は、
全く無いと考えられる。

1-2. IP 電話技術に適した、フェアな事業群・企業群の再構成が必要である

交換機電話網から IP 電話網への技術変更が進めば、
市内市外、東西(南北)や短距離長距離という、交換機電話網時代における従来概念は、
意味をもたなくなるはずである。

そうであるならば、
IP 電話網が普及した時代においてまでも、
加入者電話事業に、
NTT 東社、NTT 西社、NTT コミュニケーションズ社(長距離電話)という区別を設けて、
その筆頭に、NTT グループ持ち株会社をわざわざ設置する必要性は、
全く無いと考えられる。

(もしも政府出資の会社が必要だと考えるのであれば、
NTT 東社、NTT 西社、NTT コミュニケーションズ社(長距離電話)
を統合した会社を新規に設置し、
その会社へ政府が出資しさえすれば、
ユニバーサルサービスを十分に提供できるのではないだろうか?)

2. NTT グループ持ち株会社の解散と、政府出資先の限定化

現行 NTT グループの事業・子会社構成をこのまま継続させてしまうと、
政府が大株主として上位に存在する必要性が無い事業までもが、
持ち株会社の傘下に含まれてしまう。
これでは、他事業者との健全な競争を阻害してしまう。

2-1. 本来あるべき新しい姿

本来あるべき姿へ移行するためには、下記 1~4 を実施する必要があると考える。

1. 現行持ち株会社をいったん解散する。
2. NTT 東社、NTT 西社、NTT コミュニケーションズ社(長距離電話)
を統合した会社を新規設置する。
3. ユニバーサルサービス負担を前提に、
上記 2 の新設会社に政府が出資する。
4. NTT グループ保有のボトルネック設備を、
上記 2 とは別の新規設立完全別資本公司へ移行する。

2-2. 早急に取り組みを開始すべき資本面の課題

ここで大きな課題が発生する。
現行 NTT 持ち株会社の株主から大きな反発が予想されることである。

しかし、
政府は、
納税者が必要とする最低限度の通信サービスを、
納税者に対し保障しなければならない立場ではあっても、

民間企業同士の純粋なサービス・技術競争を、
政府出資企業が営利的優位となるように間接誘導する立場であっては
ならないはずである。

3. 政府が自覚すべき、NTT 持ち株会社大株主としての責任

政府は、
NTT 持ち株会社解散を前提に、
NTT グループが抱える通信・情報処理事業を再度組織変更するよう、
NTT グループに対して強く指導すべきである。
(当然、NTT 法も大幅改正すべきである。)

政府は、
持ち株会社他株主に対して、
政府が出資・関与する必要性のあるサービス・事業範囲とその程度を、
再定義して説明しなおすべきである。
(他株主は、政府の間接誘導による、
NTT グループの競争優位性を期待すべきではない。)

以上